

先着 150 名

映画『ぼけますから、
よろしくお願ひします。』特別上映会
& 信友直子監督のトークイベント

お申込みは

お電話

堺第 2 高齢者支援センター
042-797-0200

又は、

QR コード



でお申込み下さい

申込み締切
3/3 日 (月)
定員に達した時点で
締め切りとなります

映画鑑賞料

500 円

鑑賞料は当日受付で
お支払いください

公共交通機関
を利用して
お越しください

主催

おやま共生の会

令和元年度
文化庁映画賞
文化記録映画大賞

ぴあ映画
初日満足度 1 位
(11月3日発表分)

第92回
キネマ旬報ベストテン
文化映画 3 位

第43回
日本カトリック
映画賞

2018年度
全国映画賞
特別賞

第36回
日本映画
復興奨励賞

文部科学省
特別選定映画

厚生労働省
推薦映画

認知症の母と耳の遠い父と離れて暮らす私一

ぼけますから、

よろしくお願ひします。

ドキュメンタリー映画

広島県呉市。泣きながら撮った1200日の記録

2025 3.9 (日)
小山市民センター (ホール)
14:00-16:00
開場 13:30
※上履きをご持参ください

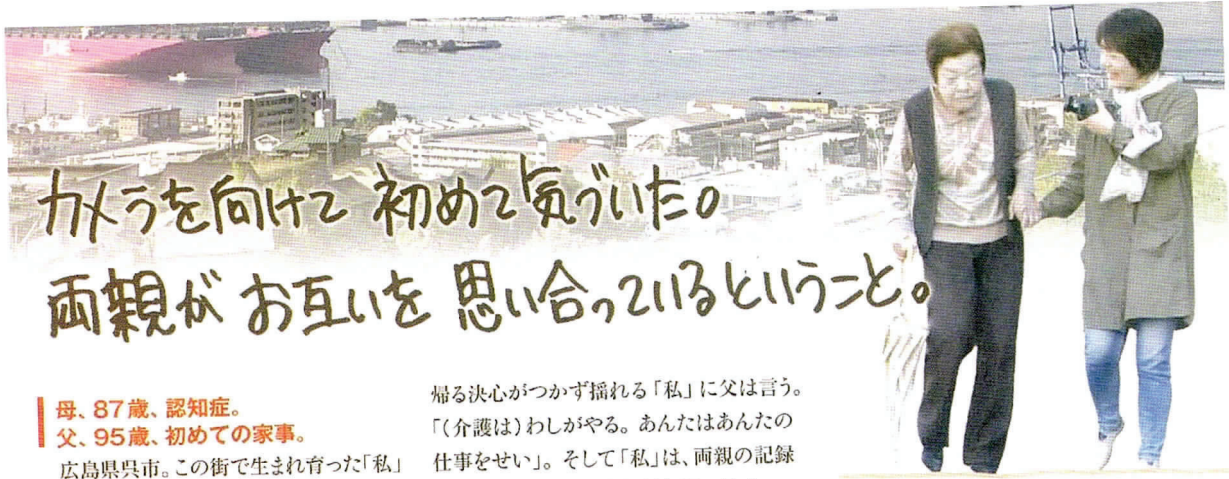
ひとり娘 信友直子

監督・撮影・語り

プロデューサー：大島 新 演出 共同プロデューサー：前田亜紀 堀 治樹 山口浩史
編集：目見田 健 実景撮影：南 幸男 音響効果：金田智子 ライン編集：池田 聡 監音：富永憲一
配給宣伝協力：ホレホレ東中野 ウッキー・プロダクション 製作・配給：ネツゲン フジテレビ 関西テレビ
2018年/日本/カラー/102分/©「ぼけますから、よろしくお願ひします。」製作・配給委員会

www.bokemasu.com

お問合せ：町田市堺第 2 高齢者支援センター042-797-0200
：一般社団法人 D フレンズ町田 042-732-3785



かたうを向け、初めて気づいた。 両親がお互いを思い合っているということ。

**母、87歳、認知症。
父、95歳、初めての家事。**

広島県呉市。この街で生まれ育った「私」(監督・信友直子)は、ドキュメンタリー制作に携わるテレビディレクター。18歳で大学進学のために上京して以来、40年近く東京暮らしを続けている。結婚もせず仕事に没頭するひとり娘を、両親は遠くから静かに見守っている。

そんな「私」に45歳の時、乳がんが見つかる。めめめそしてばかりの娘を、ユーモアたっぷりの愛情で支える母。母の助けで人生最大の危機を乗り越えた「私」は、父と母の記録を撮り始める。だが、ファイナダーを通し、「私」は少しずつ母の変化に気づき始めた…

病気に直面し苦悩する母。95歳で初めてリンゴの皮をむく父。仕事を捨て実家に

帰る決心がつかず揺れる「私」に父は言う。「(介護は)わしがやる。あんたはあんたの仕事をせい」。そして「私」は、両親の記録を撮ることが自分の使命だと思い始め—

大反響のテレビドキュメンタリー、 待望の映画化。

娘である「私」の視点から、認知症の患者を抱えた家族の内側を丹念に描いたドキュメンタリー。2016年9月にフジテレビ/関西テレビ「Mr.サンデー」で2週にわたり特集され、大反響を呼んだ。その後、継続取材を行い、2017年10月にBSフジで放送されると、視聴者から再放送の希望が殺到。本作は、その番組をもとに、追加取材と再編集を行った完全版である。娘として手をさしのべつつも、制作者としてのまなざしを愛する両親にまっすぐに向けた意欲作。



港町呉は坂の多い町でもありますが。買い物するにも一苦労。結婚以来、父と母はずっとここで暮らしてきました。

ひとり娘
ドキュメンタリー監督
信友直子



1961年広島県呉市生まれ。東京大学卒業。在京キー局で数多くのドキュメンタリー番組を手掛ける。放送文化基金賞奨励賞、ニューヨークフェスティバル銀賞、ギャラクシー賞奨励賞など受賞多数。

協賛企業様・協賛団体様

- (有)東典礼 ●雨やどり ●Kitchen アモーレ。 ●桜美林ガーデンヒルズ サクラデイサービス
- おやま内科クリニック ●きらら訪問看護ステーション ●栄不動産(有) ●すーぷや SEKAI
- 地域活性化ボランティアこのみ倶楽部 ●竹清会 美郷・花美郷 ●デイサービス うたなかま
- 天紀会 こころのホスピタル町田/こころのホスピタル町田 臨床心理室 ●東京アルパカ
- (有)細野自動車 ●(有)まちだ葬祭店 ●町田多摩境接骨院 ●町田市農業協同組合 堺支店
- ローソン町田小山町店 ●SOMPO ケア ラヴィーレ町田小山 ※五十音順



ドキュメンタリー映画

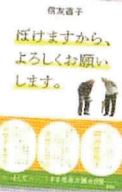
**ぼけますから、
よろしくお願ひします。**



監督書き下ろしによる待望の書籍化!

あのシーン・この場面を撮影した時の心情、映像には入れなかった出来事、そして現在の信友家の様子まで、読めばまた映画が見たくなる感動作です。

「ぼけますから、よろしくお願ひします。」信友直子 著
(株)新潮社 / 1,500円(税込) 2019年10月21日刊行 ※全国書店でも発売中



【歳末助け合い分配事業助成】